

学校だより

令和元年 6月26日(水)
門前西小学校 NO. 4

教育目標



よく学び心豊かでたくましい子の育成
かかわる みがく 未来をひらく

もう15年くらい前になるでしょうか。「リビエラを撃て」以来次々に小説を上梓していた高村薫さんが出演した、インタビュー番組を観る機会に恵まれました。

高村薫さんはとても真面目すぎるほど真面目にインタビューに回答し、深く思考しナイーブな印象を受けました。その当時不登校や引きこもりについて話題になっていて(現在も解決されず増加の一途を辿っていますが)その当時インタビュアーが高村さんにその話題を振ったとき、高村薫氏は確か、このような内容で答えていました。

「三大義務として(憲法で)、納税の義務が課せられているのだから、将来日本国民として税金を納められる人に育たないといけない。育てないといけない。そうでないと日本が成り立たなくなります。」

正確な言い回しでは無いかもしれませんが、そのようなことをおっしゃっていました。子育て真っ最中の自分は、高村薫さんの言葉を妙に冷めた感じのように受け取ってしまい、かえってその言葉が印象に残ってしまいました。

ところが数年前から、その高村薫さんの「税金を納められる人を育てる」の意味がよく分かるようになりました。

私たち教職に就く者は、教育基本法という法律を「小六法」で大学や採用試験で学び、教育の基盤にあります。

第一条 【教育の目的】

『教育は人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身共に健康な国民の育成を期して行わなければならない。』

高村薫さんが言いたいところと繋がるのです。親が行う子育ても、学校関係者が行う学校教育も、一人の人間が将来社会人として正当な義務と権利を得て、働き生計を立てるといって、至極正当でまっとうな生き方をすることで民主主義社会を支えていくことになるんだと。個人の生き方を尊重できるのも、個性を発揮して自由に生きていくのにも、この社会の安定があるからなのだ。

子育ては難しく、このような多種多様な価値観が存在し、何が良いのか悪いのか見極めにくい部分があるため、子どものしつけを始め、正しさの判断すらしっかりもっていないと、分からなくなってしまうときがあります。

でも、当たり前ですが、子どもはいつまでも子どもではなく、いつか自分で判断し、行動するようになる。その時に判断する力や人を思いやる心が育っているように、悩みながらも、大人として一歩引いて「子育て中」という看板を背負って、教え育てて欲しいです。

子どもが可愛いからこそ。

校長 春田 安子



夏休み中（7／21～8／31）のおもな行事予定

【7月】

- 22日（月）水泳教室・学習会① 11：30下校
プール開放 13：30～15：30
※土日を除く8／7まで
- 23日（火）5・6年生わじまっこ海の体験学習
- 24日（水）水泳教室・学習会② 11：30下校
- 25日（木）水泳教室・学習会③ 11：30下校
- 26日（金）水泳教室・学習会④ 11：30下校
- 30日（火）校内水泳記録会 11：30下校



【8月】

- 5日（月）輪島市子ども議会（13：30）
- 6日（月）全校登校日 11：30下校
- 8日（木）市水泳記録会（13：00）
- 13日（火）
- 14日（水）
- 15日（木）
- 16日（金）
- 24日（土）PTA奉仕作業（6：00）
- 29日（木）ウォーミングアップ登校① 12：00下校
「巨匠の生き方に学ぼう」（5年生）
- 30日（金）ウォーミングアップ登校② 12：00下校
- 9月2日（月）2学期始業式

※行事の期日が変更になる場合があります。予めご了承ください。

【お願い】

門前西小学校緊急メールへの登録はお済みでしょうか？

6月1日午前8：00にテストメールを配信してから3週間が過ぎました。緊急メールへの登録はお済みでしょうか。

現在までに、テストメールの他に、「相撲大会について連絡」というメールも配信しています。

今後、情報や連絡を配信していきます。未登録の方は、ぜひ登録していただきますようお願いいたします。

